常磐毎日新聞

四月十三日　夕刊

日刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
廣告料 普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
發行所 平・五色町三五 常磐毎日新聞社 電話 六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社 [illegible]

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

市長會議が彩る
平のサクラ景氣
15・16兩日
東北々海道の市長一行
平市附近を仔細に視察、
風光を滿喫

『サクラ平』の殷賑は先づ東北々海道の市長會に依つて華々しく開幕される、一行は仙臺市長外隨員を合せて四十六名、既記の如く平市、湯本、四倉の各一流旅館に分宿して十五日午前九時から平公會堂に開議、地元の故を以つて青沼市長が議長席に着き先づ宮城遙拜や默禱を型の如く濟し青沼市長の挨拶、内務大臣の告辭に次ぎ君島知事、野崎市會議長、山崎商工會長の祝辭があり議事に移つて正午記念撮影の後、別館日本間に於て商工會主催の午餐會に臨み午後一時自動車に分乘、白水阿彌陀堂の國寶を拜觀、二隊に分れて入山、磐城の兩炭礦を視察し歸平後、櫻花ほころび初むる松ケ岡公園の春を讃へ、活潑な市内の實況を觀察して片倉製糸工場を視察、午後五時から公會堂のステージに繰り擴げられる平美妓十八番の舞踊に旅の聊を一掃、午後六時から住吉屋本店に開かれる君島知事及青沼市長合同の招待宴に臨席歡談、第一日の日程を終へ、第二日目の十六日午前九時から再び公會堂に會議を開き同十一時頃に一切を議了して自動車を馳り沼の内辨天を參詣して池中に躍る銀鱗を賞し豐間の燈臺を見て江名濱漁港、小名濱商港を視察し中食の後日素工場や昭和人絹に至り旺盛な産業立國の息吹きに接し、勿來の關趾に八幡太郎の遺蹟を訪ね、更らに平潟海岸の風光を滿喫して午後四時頃磯原山海館に到着目出度く解散式を擧げる豫定であると

女房の財産に
目をつけて
出刄で追ひ掛け
附近は黑山の人出

十二日午後五時頃植田本町食肉商一條富勝(三三)は妻はる子(三三)と夫婦喧嘩をした揚句肉切包丁で追ひ廻し植田署に逃げ込んではる子が此旨急報したので係官出張事なきを得たが喧嘩の原因を聞くと富勝は營業不振の折妻の實家にある財産に目をつけ再三妻を通じ交渉したが應じない所から姙娠五ケ月の妻を虐待したので一時に逆上したものと判明した

この喧嘩の物音に鋪裝工事に出張中の人夫百余名と附近の人で黑山の如き人出であつた

鈴木昌雄等起訴
淺野判事 勾引狀執行

既報取調べ一段落とゝもに送檢された稀代の詐欺漢――鈴木昌雄等一味十名のうち主犯默鐵こと鈴木昌雄(四二)をはじめ酒谷四郎(四二)菅野菊三郎(四二)智康こと原野寅吉(四二)の四名は富澤檢事取調べの上直ちに起訴淺野判事の勾引狀により收容されたが志茂行城(四二)白水辨太郎(四二)清水眞澄(四二)の三名は不拘束のまゝ起訴された

尚書類のみ送檢された昌雄の妻鈴木フミ(二六)青木英一郎(四二)市島惣三(六三)の三名は目下取調べ中

東日本丸が
又もや大漁
二萬圓の水揚

東日本漁業株式會社所屬船東日本丸は既に八航海に及び航海毎に大漁を占め歸港するが昨十二日夕相州三崎港に入港した該船は旗魚、鮪類の大物のみ一千六百本!、如何に安價に見ても二萬圓は下らないので重役水野政次郎氏は急遽三崎港に向つて發足した

合併調査
渡利村から

信夫郡渡利村は目下福島市と合併の折衝中である爲め同町會議員七名は平と小名濱の合併狀況を調査の爲め本十三日午後六時廿分着平郡線で來平、甲陽館に投宿した

小名濱支局通信

豫算案記事の
反響

支局長 小野晉平

△愛町の人未來の町議と名乘る覆面氏▽

十四年度豫算案に就て四五回に亘り批判を試みた記事に對し讀者各位は之を徒らに觀過し得ないで然かも一層の關心を拂つて讀まれた中に最も感を同ふする讀者のあつた事を滿足するものである、唯恨むらくは匿名で愛町の民未來の町議と銘打つた處に興味を呼んだ實際上の愛町の士ある事に雀躍するものである何れは其内覆面を脱して名乘りを揚ぐる時機もあるだらうと思ふか故に今は其名を問ふともしないが其全文を載せて大方の一覽に供する事とした

『常磐毎日新聞小名濱支局通信欄に小名濱町十四年度豫算編成の手際と題する小野支局長の明朗なる批判の發表記事を某家に於て拜見さして頂きました

貴者は前に本町々會議員としての要職にありし由今回御發表の豫算編成に對する御批判は吾々町民の大に傾聽に値する金言なりと敬服致します

惟ふに本町二十有餘名の町會議員諸君は自治機關の最高の名譽職にありながら町政上最も重要なる豫算案審議に當り町議としての機能を發揮し誠心誠意審議をなし決議機關として其任務を果したりや否や

苟も郡内隨一の町とし一萬五千有餘町民の代表として議場に立つ以上愼重審議決議機關たるの責任を充分顯現して欲しい

總豫算五十餘萬圓と云ふ尨大なる豫算案審議に當つて調査研究もせず僅か一二時間の短時間に方附け更に修正削減等もなさず原案鵜呑となし之を以て本町の名譽の如く誤解し吹聽宣傳をなされつゝあるも果して之が吾々町民の幸福となりませうか又吾々町民に對する眞の愛町の行爲と思はれませうか理事者並に町會議員諸君に御訊ひしたいものであります

次に政務助役設置の件は吾人も小野支局長と感を同ふするものである、御說の如く町長は何の用務かは知る處でないが殆ど席温まる迫なく東奔西走にて町役場は留守勝と聽く此場合高木助役一人にては如何に三面六臂の活躍を以て精進すと雖も圓滑なる町政事務の運用は困難であり殊に今回結成されたる警防團の團長の重責を擔ひ一朝有事の場合は水火の中にも一身を犧牲にする覺悟を以て何時にても出動し得る用意なかるべからず隨て現在の如く助役一人に町政及び治安維持を委る事は町民として不安此上なし是非政務助役の新設を要望するものなり

尚巷間傳ふ處に依れば町長不在勝の間隙に乘じて役場内が二流の傾向ありとの事だがもし果して信なりとせは之れ等の弊害を豫防する上にも鎭壓し躍進途上の吾町をして大小名濱町建設に貢獻せられん事を念願して擱筆します』

と云ふのであつて迸る熱誠は余く愛町の士でなければ出來ぬ筆端で本紙を通し覆面氏の意向を掲載するもの亦愛町の一端である事を殊に諒とされたい

軍用機獻金
内鄕

村宮同村第三小學校六年生安藤留吉君は新聞配達をして得た金一圓五十錢を軍用機に獻金關係者を感激させてゐる

小名港竣工
植田

町の「小濱港築港」は縣下海岸線九港中の最難工事といはれてゐたが五月上旬頃竣工することになつた

花の山の踊舞臺
十五日から開く

平松ケ岡公園のお花見もいよ〳〵近付いたが藝妓連の手踊等の舞臺開きは來る十五日午後一時からと決定した

特に意義づける
時局下の山神祭

磐城、入山、古河の三大炭礦を始め其他各炭礦は十六日山神祭を擧行し全山歡喜に包まれるが時局下を遠慮し例年とは異り餘り大袈裟なお祭り騷ぎを避けて一年一度の此の慰安デーを意氣づける事となつた

小名濱校
家庭訪問

小名濱小學校で毎年新學期に當つて家庭訪問をする例となつて居るので本年も十一日より向一週間各學級擔任訓導は受持生徒の家庭を懇ろに訪問し生徒の個性上の欠點長所に附き深き注意を父兄とも打合せを行ふ筈で其準備に忙殺されて居る

内鄕家政の
貯へを獻金
娘子軍

内鄕村家政女學校生徒は時局下銃後の娘子軍として遠く中華の異境に奮戰する皇軍將兵の爲めに出得來るだけの節約より捻出したる金を恤兵部へ獻金すべしと協力一致し種々の工夫から貯金した第二回獻金を此程平市磐城通信社を通して獻金を申出でた因に代表者として山崎ちよ、荒木貞子、若松ヨシの三孃外六十名である

平商野球メンバー

既報好敵手磐中を一蹴來る二十九三十の兩日郡山市で開催される縣下中等學校選拔野球大會に出場、福島、郡山、白河各地方の強豪と覇を爭ふことになつた平商のメンバーは左の如くその奮戰を期待されてゐる

△投手―千葉貞夫△捕手―渡邊博△一壘―佐藤義之△二壘―大塚勇△三壘―武藤仁雄△遊擊―小野忠雄△左翼―根本夫三△中堅―田山弘平△右翼―隈川仁治

中堅農民
体驗を語る
知事も臨席

石城郡中堅農民養成運動は郡農會が中心となり既に十年前から實施されその道場的な訓練は大きな效果を收め現在まで訓練を終り農村の中堅青年として活動してゐるものは約一千名に達し優秀な指導者になつてゐるが來る十七日午前十時から平第二小學校講堂で同窓會を開催お互の體驗を語り合ふことになつた

この日常に青年群の意氣に感激してゐた君島知事は特に同會場に出席激勵を兼ねた訓辭を行ふ筈でかうした會合に知事が出席することは未曾有のことだけに關係者は大欣びである

新築に移轉した
平商校授業開始
鳴り響くサイレン
講堂は今月末竣工

木の香新らしい新築校舍に移轉した平商業學校は職員と生徒の喜びに滿ちた渾然たる大努力に依つて十一日先づ御眞影を奉遷して後机や椅子を始め其他什器類等悉く運搬を濟し昨十二日は思ひの外置場整理が進んで舊校舍に塵一本も止めぬ大掃除を行ひ今十三日から平常通り授業を開始し新取付のサイレンが時間毎に附近の空氣を震はして平市の南方進出に先驅的の活動を開始した尚商友會の新築を寄ぶ贈り物の壯麗な新講堂は今月末竣工の豫定である

和牛三頭
諸橋氏寄附

平市農會長諸橋久太郎氏は此の程私財三百八十圓を投じて改良和牛三頭を購入同農會に寄附した

賭博に身を崩し
金に窮して強盜
小名濱荒し豫審終結

小名濱界隈を毎夜の如く荒し廻つてゐた稀代の強窃盜犯人――小名濱町ペンキ職穴戸政夫(三三)は既報の如く平支部の豫審に附され關口判事の取調べを受けてゐたがこの程終結有罪と決定公判に廻された

同人は賭博に耽り生活費や賭け金に窮した末短刀や出刄庖丁を懷に町内を荒し廻つたもので被害約千圓に達してゐる

手長募集員
本籍

長野縣生れ昭和人絹工場工員募集係伊藤利治(三三)は本年三月一日同工場内紡績室にあつた庄司三郎所有のオーバー一着、同洋服一着時價三十圓位を窃取、尚寄宿舍三十五號室星秀夫から置時計一個時價十圓位を預り植田町渡邊質店に一圓五十錢に入質遊興に費消したこと探知され植田署に檢擧目下嚴重餘罪追求中

大利の男女青年
汗の勞銀を獻金

箕輪村大利男女青年團代表者大和田嘉男、菊田秀造の兩君は男女青年團をして道路開鑿工事の勞役に從事せしめ其一部を國防費中へ獻金せんと計畫し三月中半月宛交替の勞務に依り得たる勞銀中より金七圓七錢を割いて此程國防費中に獻金を申出てたので其奇特行爲を讃へられて居る

煙草の赤看板が
店頭からサヨナラ

煙草專賣局平出張所管内の各小賣人はこの程從來特殊煙草に添付してゐた竹のパイプが衛生上思はしくないのに鑑み廢止すると共に國策に添ひ各賣店の店頭に揭示してある「タバコ」小賣の赤標札をも廢止することを申合せたが

この赤標札は組合で取まとめた上賣却して國防費に獻金するものである

主家の水揚喞筒
コツソリ盜んで捕る

四倉町仲町海産物商片寄留松氏方雇人橋本幸三郎(三八)は去月二十二日頃主家の水揚ポンプ一臺この價格二十圓を盜み出し同町字原田加藤清一(四二)に僅か二圓五十錢で賣却したこと發覺十二日四倉署に檢擧されたが加藤も贓物故買で取調べられてゐる

自轉車の
番號札で
恤兵金寄附

平署では鐵統制のため自轉車の記號番號が廢止になつたので今年二月はじめから管内の各所有者に呼びかけこれが寄附を求めてゐたが今十三日賣却したところ七十貫の八十圓五十錢になつたので第一回分として恤兵金に獻金することになつた

小名濱魚市場便り

東日本丸の大漁滿船の吉報を得た小名濱漁場は入船する港が相州三崎港であつても所屬は小名濱である處から其吉報毎に何れも鉢を叩いて喜んで居る矢先地許揚繰網漁業も風波なければ出漁毎に二千圓以上の漁獲を占め春職としては近年にない好漁を示して居る、更に底曳漁の如きも一層の好漁を傳へ春漁期としては最上の景氣で漁場何となく活氣を呈して居る

キネマ

◎平館―村田知榮子、星ひかる、山本嘉一他天中軒雲月浪曲出演「祖國の花嫁」コロムビア森林活劇ジヤック・グレースブラッドー主演「ダイナマイト」時代映畫高峰夕起子、原健作他「浮名小路」外ニユース料金三十錢

◎聚樂館―大河内傳次郎山田五十鈴他新編「丹下左膳」德川夢聲、丸山定夫、堤眞佐子、英百合子主演「彥六大いに笑ふ」外ニユース、料金三十錢

ラヂオ
JOHK

今晩の部
▽後六、〇〇 子供の時間
コドモ時局講話「戰爭と銃後の護り」―陸軍步兵大佐杉野巖
▽後七、三〇 國民歌謠
▽後七、四〇 講演
▽後八、〇〇 舞踊劇―歌舞伎座より中繼「安宅」
▽後九、〇五 絃樂合奏「チエロと絃樂夜曲」

明日の部
▽前七、〇一 朝の修養「維新志士の心」海井福治
▽前九、四五 幼兒の時間 歌のおけいこ 平井美奈子
▽前一〇、二〇 家庭講座「私達の廢品更生」則武東平
▽前一一、〇〇 小學生の時間童話「お母さんとの約束」安倍季雄
▽後〇、〇五 四重唱 大阪ヴオーカルフオア
▽後二、〇〇 小學生の時間「高等科」四月の歌ごよみ
▽後三、〇〇 婦人の時間「時局下の努力問題と婦人」美濃口時次郎
▽後三、三〇 敎師の時間
▽後六、〇〇 (子供の時間)お話「眼を覺した春の草花」野間守人
▽後六、二五 趣味講座「啄木の思ひ出」
▽後七、三〇 國民歌謠
▽後七、四〇 (上海より)
▽後八、〇〇 管絃樂、日本放送交響樂團
▽後八、四〇 謠曲「櫻川」
▽後九、一〇 時事解說

新東亞の建設は雛祭より
良くて安い雛人形は
金太郎玩具店へ
平市三丁目

櫻ハ松ケ岡
良クテ安イ
ヒナ人形ハ
平市四丁目
スガノヤ提灯店
電話九五番
▽御花見の御歸りには是非御立寄を

愛憎三度笠
吉川 延 作
瀧 秋方 畫

…(232)…

悲哀 十三

「こらッ!」

と、源十郎はお綾を一喝した。さうしてするりと太刀の鞘を拂つた。

お綾は小さくかゞまつてゐたが、今は恐怖に堪へられないものゝ如く

「アッ」

と、叫ぶや全く狐狸のジヤンプのやうにさつと戸外に、庭の飛石の間に飛びおりてしまつたのである。

源十郎は、意外なお綾の身輕な動作に驚いて、啞然としてゐる間に彼女は脫兎の如く、街路に飛び出したのであつた。

源十郎は、その太刀を持つたまゝ彼女の後を追うて、一生懸命に追跡した。それが殆んど無意識なのであつた。

北野の森を離れると、そこは畠や田や、森や小山の連續した洛西の郊外につゝまれた寂しい自然がひろがつてゐた。

お綾は一筋の路を辿つて一生懸命で逃げ出して行く、その速度が普通の女性が想像することさへ及びつかない程のスピードである。

源十郎も夢心地であつた。たかが女一人の足に遅れたとあつては恥辱のやうな氣持がしてならなかつた。

嵐をおふ嵯峨山を見ずといつた如く、彼は今何處を走つてゐるのか、方角は何處か、さうした反省は少しもなかつたといつてもよい。

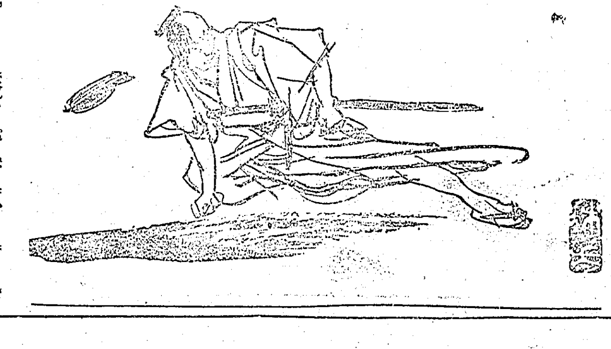
所が、女は街路にさしかゝつた時、そこの路の中途の暗い途上で、バッタリ倒れた。彼女が倒れたと同時に源十郎も同じやうに打ち倒れたのである。

恰もマラソン競爭をしてゐた人間が極度の疲勞にこの上走れなくなつた時のやうに……

街路は、二人には氣はつかなかつたが、丹波と山城とをつなぐ老の坂である。日はすつかりと暮れてゐた、それで、あたりの樣子で判斷することが出來ないにも拘らず彼が疲勞から次第に蘇生の思ひをした時、不思議にも今自分が倒れてゐる場所が老の坂でお綾を挑んだ男を斬つた坂の上である事を知つたのである。

源十郎は、大膽不敵の彼ではあるが、背中から冷水をかけられたやうに慄然としたのである。

お綾は死人のやうに身動きもしないでゐる。



彼は例の太刀を、[illegible]んの闇へを立てつゝ[illegible]に近寄つたのである。

この時、峠を越ゆる人の一隊が二、三個の小田原提灯を中心に雜談しながら登つて來た。

「おや人間か」太刀を拔いたまゝ突立つた源十郎の姿を見た一隊は、ハタと足をとめると

「あゝ、綾瀬君ぢやないか」

と、一人の男が源十郎の顏に提灯を差しむけた。

「あゝ君は?」

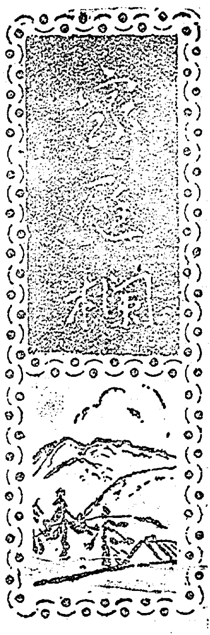
彼は先方の顏が影になつて僅かに見ることが出來なかつた。

「君は綾瀬君ぢやないか」

と、重ねて呼ばれた源十郎は初めて愕然としたが、すぐに相手が何者であるかを知ることが出來たのである。

「おゝ、誰かと思つたら服部君か」

と、相手を知ると同時に、不愉快な焦燥が胸に込み上げて來たのである。まさか大助とかうした所で邂逅しようとは思つてゐなかつたのである。



◇毎日のメモ◇

庖丁の臭みとり　魚などをきつて庖丁が生くさくなつたときは生姜の葉でよくこすつて御覧なさい、奇妙によくとれるものです。

（婦人の立場から）

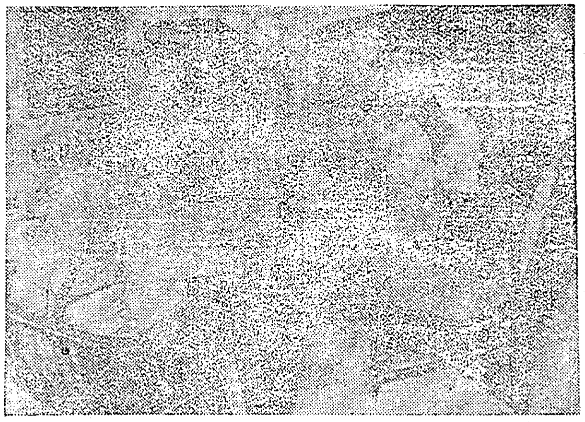
向上する婦人達

廣津和郎

婦人よ目覺めよ、といふやうな言葉もそれを聞いてから隨分長くなる。舊時代の、向ふまかせの、人まかせの、御婦人としてはなよ／＼した、弱い婦人であつてはならない、といふやうなことが唱へられはじめてから、もうやがて四分の一世紀が經つてしまつたらう。もつともこれは日本でのことで、西歐諸國ではもつともつとずつと前からのことである。さういふやうに婦人の自覺が唱へられ、人間としての婦人の向上が唱へられてから長い間に、我々は幾度も婦人に失望し。『女同志でほんとの友達になれるやうにならなければ、婦人の向上など及びもつかない』などといふ意地的な悪口をさへ、私は云つた。併し最近の婦人たちのえらさを見よ。——私は世間一般、社會の他の方面のことは知らない。私の知つてゐる文壇の方面だけを見ても最近はほんとにえらい婦人作家が、幾人も幾人も現はれてきた。平林たい子、中條百合子、宇野千代、林芙美子、窪川いね子、松田解子……その他にも隨分澤山の作家たちが、男たちとほんとの區別なしに互角な作家たちが現はれて來た。昔のやうに添物的の閨秀作家ではなく、それこそ男女の別のないわが日本の文壇での最も中堅に位する作家たちで以上擧げた作家たちはある。——私はこの文壇の一つの現象から見ても日本の婦人の自覺的向上はたうとう本物の領域に踏み込んで來たといへると思つてゐる。

子供に甘い物を與へすぎる危險

發育智能何れの點から調べても著るしく劣つてゐた



人間のからだに糖分が過剰になると血液が中性を失つて酸性になりますがその酸性の一部は自然的にアルカリ性に戻らんとし、その時カルシユームが必要となつて止むを得ず骨から必要なだけのカルシユームを取らうとします、その結果ヒヨロ長い體質や胸の狹い病質の異常體格者を出す一方、糖分をとりすぎると、胃液の分泌を妨げて食慾を無くする等々の研究は、これまでとて米國のイリノイ、シカゴ兩大學を始め、わが國でも片瀬博士等によつて動物實驗の上に實證されてゐたところですが今回これを直接人體についての實驗が文部省體育研究所の吉田章信博士と岡部正夫學士によつて完成されました。

この實驗の對象となつたものは東京市立鶴巻及び西大久保の兩小學兒童中、健康兒として選擇された男女各學年一千六百五十名で、以上を大、中、小の三甘黨に三分し（大甘黨は餅菓子ならば一日に四五個以上を食する程度、中は二三個以上小は一日一、二個以下）調べられたところによりますと、

身長　まづ身長から申せば男女各年齢とも大甘黨が最小で、中がこれに次ぎ、小甘黨が最大となつてゐます、その程度は男女とも大小兩黨の平均差において六センチ以上の開きを見せ、また

胸圍　も小、中、大甘黨の順位に大きく、小と大の平均差では五センチといふ差異をみせてゐます

體重　もまた小甘黨を首位に中大と並び、首位と末尾の差では男女とも六キログラムを切りはなし小甘黨の體重は大甘黨の二歳年長者よりも尚著るしくまさつてゐることが判りました、更に

榮養　狀態の『良』、中及び不良の三種別に制定すると、やはり小甘黨においては榮養『良』が八四パーセント『中』が一六パーセント『不良』が〇パーセントといふ良好さです、しかも大甘黨にみられるやうな野菜及び鳥獸肉等を極端に嫌ふものはなく、偏食者も一人も認められません、さらに

頭幅　及び頭長の開きにみても性別を問はず小、中、大の順で頭幅においては小、大の差三五センチ、頭長においては四センチの差をみせ、何れを調べても大甘黨が最も不良であることが判りました、ただ

智能　との關係については、小學校教育では能力を要するほどのこともないので、ハツキリした結果は現はれてゐませんが、思考、推理を必要とする算術などになると大小兩黨の差では大は小より平均〇・六點劣り、中が小より〇・四點劣るとなつて居り、圖畫、手工などの技能ものにおいても多少、小、中、大の段階がみられます

是非心得ておくべき 新時代婦人の禮儀作法

……訪問の巻……

お菓子の種類によつて、またその場合に依つても相違はあるが、各々皿も何も添へてない時には懐紙に受けて、紙のうへで適宜に割つてから食べるやうにせねばならぬ。また各々皿で出たときは、添へてある楊枝なりフオークでこれも適宜に切つてから食べるやうにせねばならぬ。

——△——

なほ、食べ終つてからの楊枝とかフオークは、懐紙で綺麗に拭つておくやうにする。かう云ふことは一寸些細事であるが、非常に、相手方によい感じを與へる。

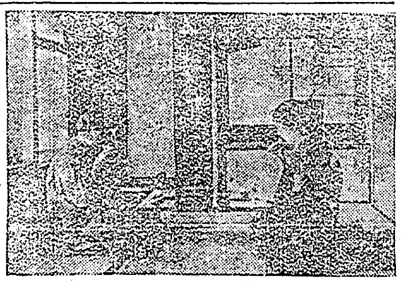
そして、拭いた懐紙は小さく疊んで下座のほうの手で、その手のはうの袂に袖口から入れる。また訪問の場合には、男女とも身だしなみとして、必ず懐紙をわすれぬやうにせねばならぬ。

——△——

次に、紅茶とかぎつたことではないが、すべて温かい飲みもの。（冷めたいものも同じこと）は、無暗に遠慮してみて冷ましてしまつたり、ぬるめてしまつては先方の待遇しに對しても大變失禮であるし、折角の紅茶の香りも味も失つてしまふやうなことがある。

——△——

まづ、紅茶をすゝめられたとしたら、輕く會釋してから砂糖を入れ、右手に匙をとつて、左手で茶碗に添へて静かに溶き廻し、もとの位置へおいてから右手も茶わんの手を持つて頂くやうにする空いた手を輕く添へておくことは見た目にも非常にも見よいものである。



若し、その際にレモンがうかせてあつたら匙ですくつて邪魔にならぬやう、受皿のうへにのけておくこともよい、それから、どう云ふことがあつても、匙ですくつて呑むやうなことをしては、第一、見苦しいことでもあり失禮である。

コーヒーにしても、またコヽアにしても、すべて同じ要領であつたらよい。次いで緑茶の場合はお茶わんを兩手に持ち添へて、これを三口半位に呑むと云ふのが、昔から禮儀作法となつてゐる。

主婦に歡迎される 十錢ストアの魅力 どうして安いのか？

デパートと小賣商の中間を行くチエイン・ストアが最近飛躍ひを見してきた、デパートとおなじく本家はアメリカだが、日本式經營法で何時の間にか大衆に食ひ込んでしまつた

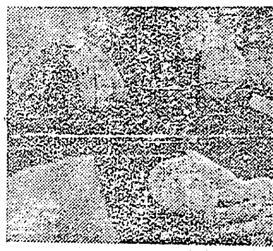
代表的　な均一チエインストアである高島屋『十錢、廿錢ストア』などは、昭和五年創立當時は數ケ所の店で小さくやつてゐたが、現在では全國に五十七ケ所にふえ、取扱ひ商品も三千種を突破してゐる、世界一のテン・セント均一店アメリカのウルウオースの五千種にはまだ及ばないが、あちらでは靴下を片方だけ賣つてゐたり

服裝の　付屬品でも百貨店の三千種は國情から見てそんなに少いことはないデパートのお客に共通の氣質があるやうに、十錢店のお客から世相をのぞくと、一番賣れるのはお菓子、次はカン詰、飴等の食料品靴下、パンツ等の洋品、石鹸、ハミガキ、ちり取りはたき等の日用雜貨の順序、おもちやはずつと落ちる

目先き　の變つた新製品は一時ではあるが歡迎されるので毎月十數種の毛色の變つたものを出してゐる。十錢店の不思議は一見十錢で出來さうもない商品が平氣に並んでゐることだが、大多數は別に損しなくとも、あの程度のものは出來るので、躍進日本工業界の斷片はこゝにも見えて面白い中には時に損ふため

原價を　切つたものもあるが大ていは共同仕入の正攻法で十錢、二十錢の線にかゝつてくる品物で百貨店には商品を隅から隅まで檢査して、掘出物（？）を探すのがうまい人がある。チエイン・ストアのある所は大衆の波をせき止めるに恰好の所にあるが、職工さん等の多い町はパツとせず盛り場と下級サラリーマンの多い町が賣れる

美顔術講座



＝クリームを指頭で溶か＝

昨日申上げましたやうに全部のお顔の基礎洗顔工作が終りましたら今度は酸性クリームを拇指の頭ほど小さい器に取りこれに化粧水を滴いでどろ／＼になる位に溶かします。

此溶かしやうは成丈けどろ／＼が細かくやわらかになるまで溶かして氣長に溶かしていたゞきたいので此のクリームがどろ／＼であるだけ夫れ丈けやはらかに皮膚にすい込まれやすいのですから皮膚の柔かい方は柔かいだけ尚一層どろ／＼に溶かす事が肝要です。近來東京のある美顔基礎の第一條は大いに此のクリームの溶かし方が美顔術師などの秘訣であり工作であると申して居りますから是非地方でお一人でお化粧をなさるお嬢さんなどはこれの點に大いに御注意を願ひます

二日醉の……手當て……かうしなさい

二日醉の豫防には、まづ飲みすぎたと思つたら、その晩のうちはやく下劑をかけて、アルコール分の吸收を妨げるのが第一です、カキを食べるとよいといふのも同じくアルコールの吸收をさまたげるからでこの兩方いつしよに行へば一層効果的です。

次にもう二日醉ひしてしまつたら下劑もよろしいが、同時に利尿劑をかけるのです、これはすでに組織の中に入つて居るアルコールをよび出すためです、さうした時特に避けなくてはならないのは過激な運動をしたり、風呂に入つたりすることで、心臟の働きが激しく血壓がたかくなりますからそんな時、殊に血壓の高い人は血管が破れて、時に腦溢血をおこさないとも限りません、頭を下げてするやうな時はしばらくやめた方がよろしいのです

家庭科學 一〇〇パーセント痩せる法

太つてお困りの方にうれしいニユース

すんなりとした容姿を欲する女性の願望は昔も今も變らぬ、これがため種々な方法が古來唱へられてゐるが、こゝに一つシカゴの美容家アントアネット・ドンネリー女史の推奬する食餌療法を御紹介するとまづ朝食と晝食はいづれも適當のバナヽと牛乳だけ、夕食は脂肪分の少い肉類（例へば、魚肉など）と野菜サラダおよびかるいデザートを攝る一日にこれだけで結構目的が達せられるといふのだから極簡單である、なほこの上運動ではない規則的な散歩と一日相當量の水分をとるやうに心がければ効果疑ひなく太つちよもほつそりと美しい容姿になるといつてゐる。

大陸行進譜

大川兵五郎作　若山琢美畫

第二回　侮辱

「はア、母は今病氣で寝てゐます」

「まア病氣？何時頃からですの？早く入院なり轉地なりなされぱいゝんですのに——」

民子夫人は美しい眉をひそめた

「えゝそんな譯で、ぢ——」

彼が金のことを云ひ澁つてゐると、其處へ華かな足音が止つて

「時子、此處？」

「えゝ、左樣で御座います」

「何誰？百合子さん、御這入なさい、今啓一さんが來てますから」

百合子は襖の外で一寸モヂ／＼してゐたがさう云はれると靜かに襖を開けて這入ると夫人の後に坐つて

「いらつしやいませ」と啓一に挨拶した。啓一は輕くお叩頭をすると、改めて百合子を見直した樣、すつかり大人びた姿に成人して黒眼勝の大きな眸が母の若い頃の面影にそつくりの感じがする。

「今日は暫らく振りで來たんだから遊んでゐらつしやい。一寸取込んでゐるんですのよ」

「いゝえ、僕はもう歸ります、それで今日はお願ひに來たのです、叔母さん、僕に百圓借して下さい」

「えゝ、そりや、まア一寸待つてらつしやい、今主人に相談してみますから」

そう云ふと民子夫人は立つて行つたが啓一は意外な氣がした。

何千とか何萬とか云ふなら兎に角高が百圓位の金は叔母の一日位の小遣にしか當らない筈だ、個々相談する程の金額でもあるまいに

「あの、お嬢さんを呼んで來ませうか？」

百合子に親しさうにさう話しかけられて彼は赤くなつてどきまぎしながら

「え、お嬢さん？　僕は——」

「でも、私呼んで來ますわ、お嬢さん達も御紹介しますわ」

啓一が呆氣にとられてゐる間に百合子が一人で會釋しながら出て行つてしまつた。

自分と、姉の双葉が許嫁だといふことをあの百合子は知つてゐるのであらうか？　若し親達や双葉自身から聞かされてゐるとすれば婚約を破棄してしまふ心算も知れない、そんなことないのかも知れない、そんなことは有得ない、そんな間柄なら何でこんな冷淡な交際でゐられる譯はない、恐らく女中からでも聞いてゐるのに違ひない、一寸の間ボンヤリ空想に浸つてゐたが氣がつくと馬鹿な——若しもそうだとしても俺は一體どうするといふのだ——

やがて女中が呼びに來て啓一は金造の部屋へ案内された。

金造は和服の着流しに太い葉卷をくわへたまゝ深々と腕を下してゐたが、啓一が入つて行くと眼鏡越にヂロリと一瞥をくれて

「お母さんが病氣ぢやそうなが、まだ入院もせんそうぢや、何か入院も出來んのか？金がないなら何故早く言つて來ん、儂はお前に少し折入つた話があるのぢやが、とんなことはわしから言ふより民子から話した方がいゝと思ふから後で聞いて與れんか」

「はい、どんなお話でせうか？」

「何双葉のことぢやがな」金造はまた眼鏡越にヂロリと啓一を見た。

おそば!!!電話4番
やぶそばへ!!
天ぷらそば
おかめそば
玉子とじ
鴨南ばん
出前迅速
其の他各種御座います。何卒御試食の程御願申ます。

病室增築、手術室完備
醫學博士
産科婦人科　五十嵐雄二
平市新川町　電話三六九番

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
和洋結髪
オゾン美顔術
御染髪洗毛
御爪美術
平市驛前
水野化粧院
電話六七（營業所）五二五八（自宅）

メガネ専門の店
メガネは絶對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
玉屋　平市本町二丁目

吉田眼科醫院
平市紺屋町
電話八六番

國旗と提灯
[illegible]

平病院（電六四一番）
平市警察署側【元共濟病院跡】
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 小兒科　院長 鈴木定藏
内臓外科 一般外科　副院長 高橋俊幸
皮膚泌尿器科 レントゲン科 物理的療法科　院長 鈴木定藏
藥劑科　部長 吉本孝平
◎診療時間　毎日午前八時ヨリ午後九時迄
（夜間診療ニ從事ス）（急患ハ此ノ限リニアラズ）
往診隨時
病室完備…入院隨時【自炊ノ便アリ】
入院料　一日 特等貳圓・一等壹圓五拾錢・二等壹圓參拾錢

小店員數名募集
▽年齢十三才より十六才まで
▽御希望の御方は面談の上相談致します
▽大至急御來店下さい
和洋紙 文房具 諸帳簿
福島縣平市一丁目
坂本紙店
電話一八番
振替東京六六一七番

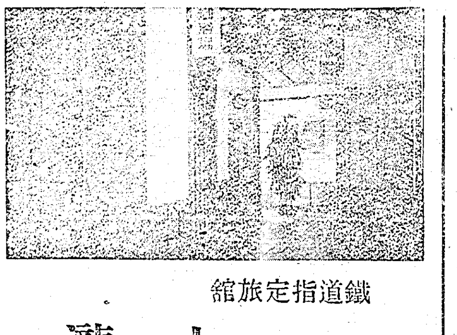
むかし昔
その昔加賀百萬石のお殿樣が青田の稻を刈り取らせ
田毎！田毎の
水面にうつる月
影を賞でたそう
な
こんな意味から名づけた田町の 田毎へ
いよ／＼ハコが入る樣になりました、どうぞ御贔負願ひます。
御料理 田毎
平市田町
電話六三三番

鐵管代用　エタニツトパイプ

	耐壓封度	内徑	一本ノ長サ	一本ノ價額	ギボルト繼手代
D級	250	50粍	3m	3.76	2.25
〃	250	75	3	5.58	2.75
B級	100	100	3	5.80	4.05
〃	100	150	4	13.20	6.07

平市仲町通り
山田文一商店
電話262番

中野齒科醫院
◇診療科目
一、齒科一般　保存科、補綴科、小兒齒科、槽膿漏科、齒列矯正科
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向）
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野惠次
日大齒科醫學士 鹽谷伍郎
補綴主任 佐藤[illegible]義



鐵道指定旅館
割烹 小瀧
電話小名濱一〇三番

特許新洗劑
モノゲン
白毛糸のソックスへ新調の[illegible]
お洗濯の時機に「モノゲン」を！
市内有名藥店、毛糸店洋品店にあり
毛糸、毛織物を縮めず、傷めず、人絹、ステープル製品は手早に揉まずに洗へ、白地は眞白く色物は落さず濯ぎは手輕にお洗濯出來る新洗濯劑です
藥店にあり
一・二〇
五〇
三五
第一工業製藥株式會社　ゲンブマルセール石鹼本舗
代理店
中野洋品店
平一二・電五三番